

ギターピックの国内トップメーカーが 自社ブランドを展開

課題

素材供給難を切り返し、 自社ブランド製品を開発

池田工業株式会社は昭和42年に個人事業として創業、平成6年に法人化したプラスチックによるギターピックの専門メーカーである。生産の大半はOEMで、取引先は大手楽器メーカー、有名プロミュージシャンで、国内シェアの90%以上を確保している。

同社の経営課題は大きく2つ。

一つは素材供給の問題だった。プレス加工製造に必要なシート材料の海外供給企業が事業を撤退する恐れがあるために原料の入手が困難で、発注から調達までの時間も長く、そのために事業活動が安定しなかった。そこで同社はペレット材の成形に着手して、新素材のギターピック製造を開始。さらに自社オリジナルの製品開発も模索していた。

もう一つの課題が、製造工程におけるプラスチック成形後の印刷工程がネックとなり、経営面での負担が大きくなっていったことだ。

その課題解決に向け、郡上市商工会が支援に乗り出した。

支援

新型機械導入で高付加価値の 新製品の開発に成功

新素材のピックについて、商工会ではまずヒアリングを実施。その結果、ペレット材を用いた製造を実現するために射出成形機の導入を検討する。同社としては初めての試みで、導入と技術の習得のためにものづくり補助金の申請支援を行った。その際には目標を明確に数値化し、検証方法についても検討を進めた。また新素材による自社製品開発に向け、商標登録支援も実施した。

この射出成形機導入後に明らかになったのが、印刷工程の課題だった。このプロセスは自社製品の付加価値の寄与にも大きく影響するため、商工会では、設備投資による効果や目標値について経営力向上計画、経営革新計画の策定を支援することになった。その結果、事業のビジョンが明確になり、課題解決の手段として、再度、ものづくり補助金を活用し、新たな設備導入に取り組むことになった。

こうした支援による設備導入により、「滑りにくい」と評価される新商品を開発することができた。そして、その同社製品に対しては、意匠登録支援など知的財産保護につながる支



成形工程で使用する射出成形機

援も行った。

これらの支援をベースに同社では、一貫した生産が可能になり、品質が向上し、さらにコストの抑制も実現された。印刷工程については、インクジェットプリンターの導入で改善することができた。

これらの結果、平成30年の売り上げは前年度に比較して増加した。同社は今後、OEMとともに自社ブランドの販路拡大にも積極的に取り組む方向だ。

支援の経過

期間	支援内容
H28年4月	ものづくり補助金の申請支援
〃	商標登録支援
H29年5月	経営力向上計画の策定支援
6月	経営革新計画の策定支援
H30年4月	ものづくり補助金の申請支援

会社概要

会社名：池田工業株式会社
 所在地：岐阜県郡上市八幡町初納字堂前409-1
 電話番号：0575-67-0231
 URL：http://ipicks.jp/
 代表者名：代表取締役 池田俊雄
 創業年：平成6年
 年間売上高：2億5800万円（平成30年）
 従業員数：18名
 商工会名・担当者名：郡上市商工会・和田憲真